

年度更新処理マニュアル

【目次】

I.	概要	1
	1. 年度更新処理	1
	2. 処理フロー	2
II.	事前準備	3
	1. 事前準備	3
III.	操作方法	4
	1. 会社設定	4
	2. カレンダー更新	5
	3. 完成工事消込	9

I. 概要

1. 年度更新処理

どっと原価 NEO シリーズでは、年度が替わった際に、以下4つの処理を行います。

- 1. 会社決算日の変更
- 2. 採番情報の変更(※任意)
- 3. カレンダー更新
- 4. 完成工事消込(※任意)



会社データについて

どっと原価 NEO シリーズは、基本 1 つの会社データを使い続けることが可能ですが、 期ごとに会社データを分けることもできます。

期ごとに会社データを分けたい場合は、前年度のデータ入力完了後に、 前年度のバックアップを取り、前年度バックアップデータから新年度の会社データを作成の上、 新年度の会社データにて上記 1~4 の処理を行ってください。

2. 処理フロー

くデータ管理>



前年度データ

※期ごとに会社データを分ける場合



前年度データ



新年度データ



- ① [データバックアップ] で、前年度のバックアップを取ります。
- ②期ごとに会社データを分ける場合、 [新規会社]で「バックアップのフォルダー選択」を①のバックアップ保存先を選択し、「新規会社名」 「新規会社フリガナ」を入力の上、 新年度のデータを作成します。

<会社設定>

会社設定

基本情報

採番情報

- ③ [会社設定] 『基本情報』の「会社 決算日」を変更します。
- ④「会社設定」-『採番情報』で「工事 コード」や「見積コード」の採番情 報を変更します。



くカレンダー更新 ※任意>



⑤ [カレンダー] で、新年度の休日設定 を行います。



〈完成工事消込 ※任意〉



⑤ [完成工事消込] で、過去に完成した工事について一部のデータを削除することができます。

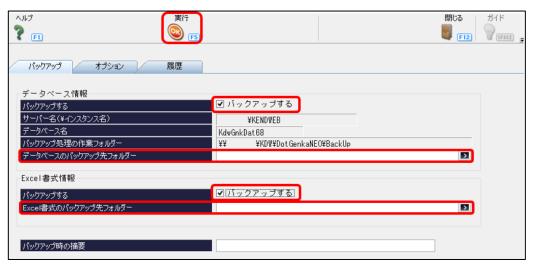
II. 事前準備

1. 事前準備

1) バックアップ

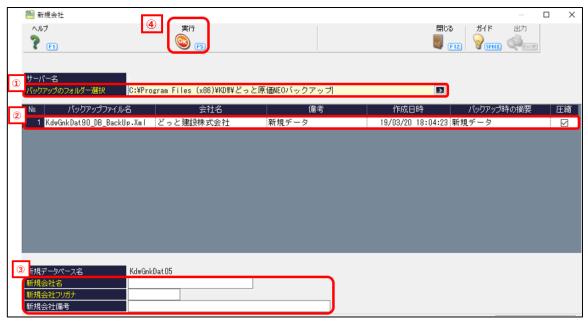
メニュー:[ファイル] - [データバックアップ]

[データバックアップ]の『バックアップ』タブで、データベース情報と Excel 書式情報の両方の「バックアップする」にチェックを入れます。「データベースのバックアップ先フォルダー」及び「Excel 書式のバックアップ先フォルダー」にバックアップの保存先を指定し、「実行 OK」をクリックします。バックアップの保存先は、デスクトップや USB メモリにどっと原価 NEO シリーズ用のバックアップフォルダを作成の上、指定してください。



2) 新規会社から新年度の会社データを作成(※期ごとに会社データを分ける場合)

メニュー:[ファイル] ー [データバックアップ]



- ① 「バックアップのフォルダー選択」から、バックアップの保存先を選択します。
- ② バックアップデータが表示されますので、こちらから復旧したいデータをクリックします。
- ③ 新年度の会社データの会社名、フリガナ、備考(年度や作成日)を入力します。
- ④「実行」をクリックすることで、②のバックアップデータで新年度の会社領域が作成されます。

III. 操作方法

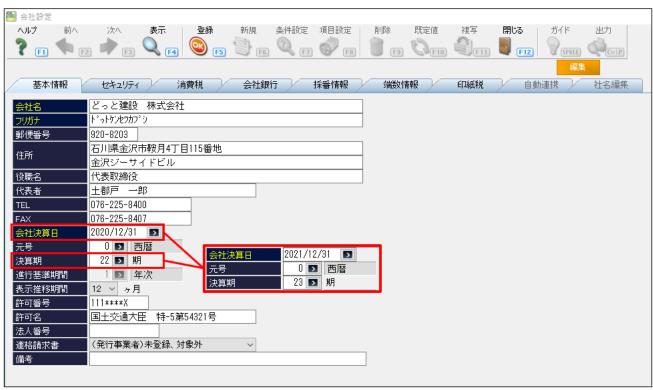
1. 会社設定

メニュー:[導入] - [設定] - [会社設定]

1) 会社決算日の変更

[会社設定] - 『基本情報』の「会社決算日」を新年度の会社決算日に変更します。

また「決算期」も新年度の会計期を入力してください。



2) 採番情報の変更(※任意)

[会社設定] - 『採番情報』で、「工事コード」や「見積コード」を年度や会計期ごとに採番している場合は、「開始」と「終了」の番号を新年度用に変更します。



上記の例では、工事コードの上2桁が会計期となっています。

そのため、「開始」コード及び「終了」コードの上2桁を "20" から "21" へ変更し、「登録 OK」をクリックします。

2. カレンダー更新

メニュー:[導入] - [カレンダー]

1) 概要

カレンダーの休日設定を行うことで、金融機関の休業日を考慮した振込日や新年度の休日を確認することができます。





休日設定の必要性

どっと原価 NEO シリーズでは、内閣府の制定する「国民の祝日」の変更に対応していません。 支払管理 OP や日報 OP を導入されている場合は、毎年、その年の「国民の祝日」及び自社の カレンダーに合わせて休日設定を行うことを推奨します。 なお、休日設定は、以下の機能に反映します。

[導入] - [設定] - 「初期設定」 - 『支払情報』タブの「振込日の計算」で、「休日の場合、前日」または「休日の場合、後日」と設定した場合、こちらの休日設定を元に支払日を自動変更します。

2) 勤怠管理

1) 支払管理

出面帳など勤怠に関する帳票に、こちらの休日設定が反映されます。

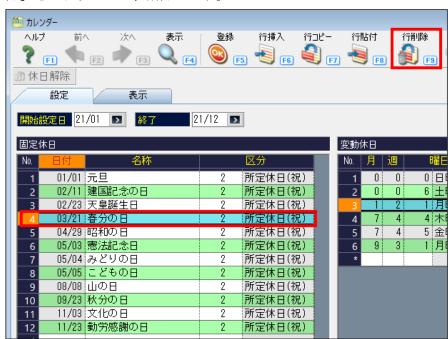
- 2) 休日設定 操作方法
- ① 『設定』 タブを開きます。

「開始設定日」「終了」で、休日設定を行う年度を指定します。



- ② 固定休日を修正します。日付で休日が決まっている場合は、こちらに設定します。
 - (例) 2021年の春分の日 (3月21日→3月20日修正)

2021年の春分の日は3月20日のため、3月21日で登録されている「春分の日」を選択し、「行削除」をクリックして、削除します。



その後、「行挿入」をクリックし、「日付」に"03/20"、「名称」に"春分の日"と入力します。 「区分」は"2:所定休日(祝)"を選択します。



「区分」を"2:所定休日(祝)"と設定し、当日が日曜だった場合、自動で翌平日が振替休日となります。

③ 変動休日を修正します。「成人の日」のように1月の第2週の月曜日や毎週日曜日など、曜日で休日が決まっている場合は、こちらに設定します。

指定月または指定の週に休日がある場合は、「月」「週」に該当の数字を入力します。

「月」を"0"と入力した場合は、毎月という意味合いになります。

「週」を"0"と入力した場合は、毎週という意味合いになります。

(例) 毎月第2、第4土曜日が休日の場合

毎月第2、第4土曜日を休日と設定する場合は、現在「月」が"0"、「週」が"0"で登録されている「土曜日」を選択し、「行削除」をクリックして削除します。

行	貼付	î	计小除	カーソル	列幅解) ;	ガイド	出力
g 📲	F 8	Í	5 F9	EI	o T e	11) 🖣 E	12	SPACE	Crrl-P
								編集	E .
変動休日									
No.	月	週	曜E	3		名称			区分
1	0	0	0 🖯	曜日	日曜日		l	1	法定休日
2	0	0 (6 土	曜日	土曜日		- 1	3	所定休日
3	1	2			成人の日			2	所定休日(祝)
4	7	3			海の日			2	所定休日(祝)
5	9	3			敬老の日			2	所定休日(祝)
6	10	2	1月	曜日	体育の日			2	所定休日(祝)

その後、「行挿入」を 2 回クリックして空白行を 2 つ作成し、毎月第 2、第 4 土曜日が休日となるように、以下のように入力します。



例のように、会社休日を設定する場合は、「区分」を"3:所定休日"と設定します。

④ 固定休日、変動休日の入力が完了したら、「登録」をクリックします。



⑤ 『表示』タブでは、月ごとに休日設定を確認することができます。



サブツールバー「休日解除」では、『設定』タブの固定休日や変動休日で設定した休日について、 日付単位で休日の解除をすることができます。

(例) 2021 年 3 月 13 日を休日→勤務日とする場合

サブツールバー「休日解除」をクリックし、「解除日付」に"13"と入力し「OK」をクリックします。



以下の確認メッセージが出てくるので、「はい」をクリックします。



そうすると、3月13日のカレンダー表示が、グレーの休日解除に変更されます。

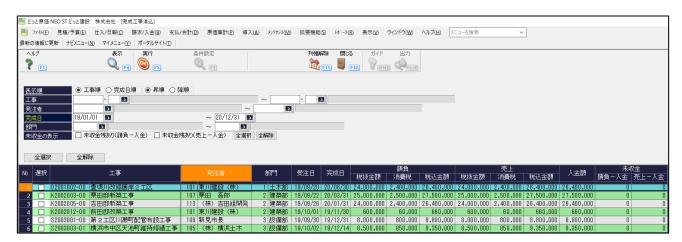


3. 完成工事消込

メニュー: [メンテナンス] - [完成工事消込]

1) 概要

完成工事消込を行うことで、前期以前に完成した工事のデータ入力や、原価管理表や工事ガイドに表示される工事を制限することができます。





事前にご確認ください

1) 完成工事消込を行う前に、<u>必ずバックアップを取ってください。</u> 消込を行った工事(以下、消込済工事)は、データの更新ができません。

消し込む工事を間違えた場合は、バックアップデータを復旧する必要があります。

≪関連メニュー≫

メニュー:[ファイル] - [データバックアップ]、

[ファイル] - [管理者機能] - [データ復旧]

ナビメニュー:[データ管理] - [データバックアップ]、

「データ管理」 - 「データ復旧]

2) 完成工事消込を行う際は、その他のどっと原価 NEO シリーズの操作を停止してください。 ご自身やその他のユーザーが、[完成工事消込] 以外のメニューを開いている場合は、 こちらの画面を開くことができません。

[稼働状況]にて、使用しているユーザーがいないかを事前にご確認ください。

≪関連メニュー≫

メニュー : [メンテナンス] - [稼働状況] ナビメニュー: [セキュリティ] - [稼働状況]

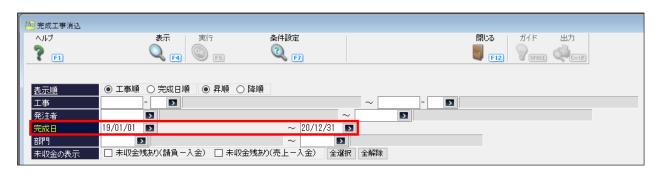
3) 完成工事消込は、[工事登録] で「完成日」が登録されている工事が対象です。 完成日が登録されていない場合は、[工事登録] の『請負情報』タブで、工事ごとに 「完成日」を入力するか、[完成工事一括登録] にて完成日を一括登録してください。 《関連メニュー》

メニュー : [導入] - [工事登録]、[原価集計] - [完成工事一覧登録] ナビメニュー: [導入] - [工事登録]、[原価集計] - [完成工事一括登録]

2) 完成工事消込 操作方法

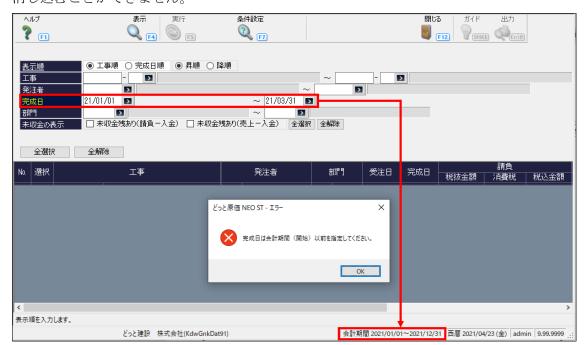
① [完成工事消込] を開きます。

「完成日」で、消込を行う工事完成日の期間を指定します。 その他の条件を指定して、工事を抽出することもできます。



1) 完成日について

会計期間内や会計期間の終了日以降に完成日が登録されている工事は、 消し込むことができません。



完成日の期間は、会計期間の開始日より前の日付を指定してください。

会計期間の開始日以降の期間を指定した場合、上図のエラーメッセージが表示されます。 ※[会社設定] - 『基本情報』で指定した「決算日」を元に、会計期間が表示されます。

2) 未収金の表示について

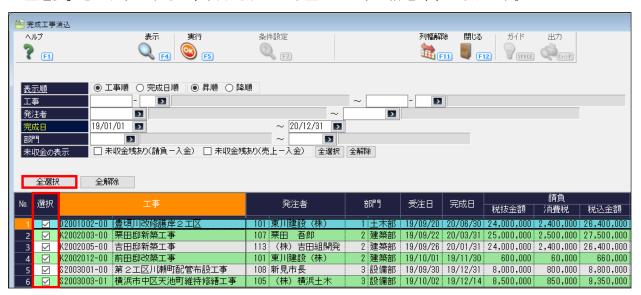
チェックを付けると、未収金残高のある完成工事も消し込まれます。

未収金の表示 □ 未収金残あり(請負一入金) □ 未収金残あり(売上一入金) | 全選択 | 全解除

「未収金残あり (請負 – 入金)」「未収金残あり (売上 – 入金)」から選択します。 未収金のある完成工事を消し込んだ場合、発注者の未収金残が残ってしまうため、 通常はチェックを外します。 ② 条件を指定したら、「表示」をクリックします。



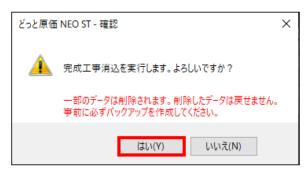
③ 条件に該当する工事が表示されるので、消し込みたい工事を選択します。 「全選択」をクリックすると、表示されている全ての工事が消込対象となります。



④ 「実行」をクリックすると、以下のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックすると、 工事が消し込まれます。







3) 消し込み後のデータ

消込済工事は、以下のようになります。

工事『D2001002-00: 豊頃川改修護岸2工区』を例に説明します。

工事登録

メニュー:[導入] - [工事登録]

[工事登録]で消込済工事を工事コード入力から表示した場合、以下のメッセージが表示され、 データの更新ができません。また「属性区分」は"99:不要"、消込区分は"1:消込済"と表示されます。

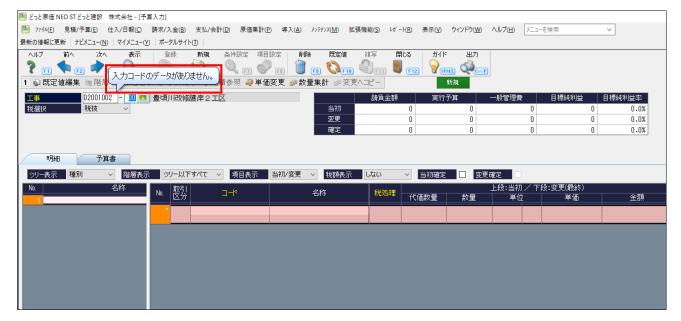


なお、消込済工事は工事ガイドには表示されません。

② 予算入力

メニュー: [見積/予算] - [予算入力]

[予算入力] については、消込済工事の予算データは削除されるため、以下のメッセージが表示され、予算データは表示されません。



メニュー: [仕入/日報] ー [仕入伝票入力 1・2]、 [請求/入金] ー [売上伝票入力]

[仕入伝票入力 1・2] や [売上伝票入力] で消込済工事の伝票を表示した場合、以下のメッセージが表示され、データの更新ができません。また、明細の「取引区分」は"99:消込済"と表示されます。 画像は [仕入伝票入力 1] を開いた場合のイメージです。



④ その他の機能について

消込済工事は、[工事登録]の「属性区分」が"99:不要"となるため、[工事別原価管理表]や[工事台帳]等、原価集計画面には表示されません。

その他の機能については、以下をご確認ください。

メニュー	データ更新	データ表示
工事登録	×	•
予算入力	×	×
発注依頼入力	×	×
発注入力	×	•
仕入伝票入力 1・2	×	•
仕入伝票一覧表、仕入明細一覧表	×	•
売上伝票入力	×	•
売上伝票一覧表、売上明細一覧表	×	•
請求処理	×	•
支払査定	×	×
支払確定	×	•
支払伝票転送	×	•
支払伝票入力	×	•
支払伝票一覧表、支払明細一覧表	×	•
原価管理表	×	×
工事台帳	×	×
工事原価推移表	×	×

初 版 2021年 4月 28日

製作・著作 株式会社 建設ドットウェブ https://www.kendweb.net/

ご 注 意 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。 本書の内容に関しては訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。